

発行者 観 点	2・東書	46・帝国
取扱内容 学習指導要領総則及び各教科の目標、内容等	○ 社会科の目標達成に向けた学習活動の主な内容 (地図の使い方) ・方位磁針を用いて身近な方位を調べる活動 ・地図のきまりを使った地図づくりに取り組む活動 (日本の全図) ・日本の東西南北端を調べる活動 ・都市と都市との間の距離を調べる活動 (日本の地方図) ・本州から九州へ渡る交通路を調べる活動 ・北陸地方の伝統工芸を読み取る活動 (世界の地図) ・世界で一番高い所と深い所を調べる活動 ・北極海を囲んでいる全ての国を調べる活動 (資料・統計) ・日本の最大の貿易相手国を読み取る活動 ・工業地帯や工業地域が海に面している理由を考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応 ・災害の起きる要因や防災対策について考察する活動	(地図の使い方) ・縮尺を用いて実際の距離を調べる活動 ・方位や地図記号などを用いた宝探しに取り組む活動 (日本の全図) ・富士山がある県を調べる活動 ・東北地方の大きな祭りや伝統行事を調べる活動 (日本の地方図) ・中国地方で一番高い山の高さを調べる活動 ・沖縄島で栽培されている果物を読み取る活動 (世界の地図) ・本初子午線上に都市記号がある国を調べる活動 ・オーストラリアでたくさん採れる原材料を調べる活動 (資料・統計) ・日本が世界各地に輸出しているものを読み取る活動 ・田が広がっているところの地形の特徴を考える活動 ・自らの身を守るために何ができるかを考える活動
内容の構成・排列、分量等	○ 内容の構成・排列 ・基礎的な知識・技能を活用して課題を追究する工夫 ○ 内容の分量 ・総ページ数102ページ、前回とほぼ同様	・歴史事象を地理的な空間の広がり結び付ける工夫 ・総ページ数132ページ、前回より約10%増
使用上の配慮等	○ 児童の学習意欲を高める工夫 ・世界の国の「ありがとう」の言葉 ・各都道府県からイメージされる特産品などのイラスト ○ 児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫 ・「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」 ○ 使用上の便宜 ・読みやすいフォント、識別しやすい配色 ・地形が分かるドローン動画	・世界のあいさつを音声コンテンツと併せて掲載 ・地図の見方を示唆し、活用を促すキャラクター ・「トライ!」「地図マスターへの道」 ・読みやすいフォント、識別しやすい配色 ・47都道府県のクイズ
指導上の配慮等	○ 地域教材 ・北海道地方の地図 ・アイヌ語に由来する地名 ・北海道で発生した災害 ・日本の歴史的景観として函館元町を掲載 ・本市が最低気温を記録したこと ○ ICTの活用 ・都道府県別地図、ドローン動画及び統計資料 ○ 小中連携 ・6つの大陸と3つの海洋があることを説明（地理的分野） ・大航海時代の世界地図の掲載（歴史的分野）	・北海道地方及び北海道地方南部の地図 ・アイヌ語に由来する地名 ・北海道で発生した災害 ・日本の世界遺産として知床を掲載 ・本市が最低気温を記録したこと ・デジタル地図、地図クイズ及び統計資料 ・6つの大陸と3つの海洋があることを説明（地理的分野） ・「世界のSDGs」コーナー（地理的分野）

本市児童の学習の状況等	○ 地図帳を活用できる知識や技能を身に付ける力の育成 ・地図のきまりや地図の使い方を8ページ	・地図のやくそくや地図帳の使い方を14ページ
	○ 複数の資料を関連付けて、社会的事象の特色や相互の関連について考える力の育成 ・イラストの吹き出しで地図やグラフを関連付けて特色を考えるよう促す工夫	・「地図マスターへの道」において、地形図と土地利用図を関連させて地形の特徴を考えさせる工夫
	○ 47都道府県の理解 ・「日本の47都道府県」	・「都道府県の名前と位置」
	○ 北方領土の理解 ・「日本とそのまわり」及び「日本の歴史」	・「日本の領土とそのまわり」及び「日本国有の領土」
その他		